

いなべ市 議会だより

第30号

平成23年8月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報編集委員会



白瀬小学校の炭焼き体験教室

「地域の皆さんに教えてもらって炭焼きをしました。
のこぎりも上手に使えたよ。」

6月定例議会

- 保育園・小学校の建て替えが進む……………P2
- 常任委員会の審査結果……………P3～P4
- 議案の審議結果一覧表……………P4
- 10人が一般質問……………P5～P10
- 議会改革委員会が検討を再開……………P10
- 議会運営委員会視察研修……………P11
- 総務常任委員会視察研修……………P11
- クイズ……………P12
- 全国（東海）市議会議長会表彰……………P12
- 編集後記・9月定例議会（予定）……………P12

老朽化した 保育園・小学校の建て替えが進む

○（仮称）笠間保育園建設用地の購入



（仮称）笠間保育園建設予定地

老朽化した笠間第2保育園を笠間第1保育園と統合して、笠間小学校に隣接した場所に建設します。

6月議会で用地の取得が決まりました。

- | | |
|--------|--|
| 1 所在地 | いなべ市大安町門前字大貝戸504番地
ほか12筆 |
| 2 地 積 | 8,361.63㎡ |
| 3 取得目的 | （仮称）笠間保育園建設用地 |
| 4 取得方法 | 随意契約 |
| 5 取得価格 | 130,868,660円 |
| 6 相手方 | 三重県いなべ市員弁町笠田新田111番地
員弁土地開発公社
理事長 日 沖 靖 |

○員弁東小学校校舎改築工事の請負契約を締結

員弁東小学校の老朽化した校舎が新しく生まれ変わります。

員弁東小学校校舎改築工事の請負契約が決まりました。

- | | |
|-----------|--|
| 1 契約の目的 | いなべ市立員弁東小学校校舎改築工事 |
| 2 工事の場所 | いなべ市員弁町大泉1201番地 |
| 3 契約の方法 | 条件付一般競争入札 |
| 4 契 約 金 額 | 785,400,000円
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額37,400,000円) |
| 5 契約の相手方 | |

愛知県名古屋市東区徳川1丁目901番地
サンエース徳川ビル4階
株式会社 塩浜工業 名古屋営業所
所長 野木場 信貢



員弁東小学校完成予想図

常任委員会の審査結果

教育民生常任委員会

付託案件の審査、6月14日（議案3件）

- 学校給食センター条例の一部改正……………（全員賛成）
- 財産の取得（（仮称）笠間保育園用地）……………（全員賛成）
- 平成23年度一般会計補正予算（第1号）……………（全員賛成）

委員会での主な質疑

財産の取得（（仮称）笠間保育園用地）

Q 町の時代のことはよく分からないが、なぜ、笠間第1保育園と笠間第2保育園の2園があったのか。また、統合にあたっての問題はないのか。もう1点は、跡地の利用についても教えてほしい。



（仮称）笠間保育園用地

A もともとは1園であったが、当時、園児数が増加して1園での保育が難しくなった時期があり、第1と第2に分園をして、場所については、それぞれ分けた地域の中心になるようにということで2園に分けた。しかし、現在は園児数が減少してきたことと、園舎も老朽化しており、耐震の問題等々も重ね合わせた結果、1園に統合して仮称ではあるが『笠間保育園』という形で建設の計画を行なった。

平成23年度一般会計補正予算（第1号）

Q あじさいクリーンセンター施設延命化事業計画策定は、具体的にどういうことをするのか。

A 設備の機能がどういう状態にあるのかをまず調べる。それについては、すぐ直す必要があるのか、何年持つかということである。そういうところで、『どの部分をすぐ変える、どの部分を何年度に変える』というような計画を立てていこうとするものである。

Q 委託料として1,300万円となっているが、その内容につき詳しい説明を求める。



あじさいクリーンセンター

A 内容は、施設機能精密検査業務が300万円、長寿命化計画策定業務が800万円、そして、桑名地域循環型社会形成推進地域計画策定業務に200万円で、合計1,300万円である。なお、契約に関しては一括になるのかなと思っている。

総務常任委員会

付託案件の審査、6月13日（議案2件）

- 職員の育児休業等に関する条例の一部改正……………（全員賛成）
- 税条例の一部改正……………（全員賛成）

委員会での主な質疑

税条例の一部改正

- Q 第22条（東日本大震災に係る雑損控除額等の特例）は公布の日から施行されるということだが市内に該当者はいるのか。
- A 今のところ市内には該当者はいない。



被災地（岩手県大船渡市）



全国から届けられた支援物資

議案の審議結果一覧表

賛成と反対に分かれた案件

～ 下記以外の7案件は全員賛成で可決しました ～

議長 水貝一道は採決に加わらない。 ○は賛成 ×は反対（付託委員会/総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業建設常任委員会）																						
会 派			新政いなべ							政友クラブ			政和会			いなべ市議団 日本共産党		波 動		無 会 派	無 会 派	
議 案 名		付託委員会	審議結果	小林 昌彦	岡 英昭	位田まさ子	種村 正巳	伊藤 弘美	林 正男	太田 政俊	小林 俊彦	鈴木 順子	水貝 一道	多湖 克典	川瀬 利夫	水谷 治喜	衣笠 民子	石原 瞭	伊藤 正俊	奥岡 征士	小川 克己	清水 実
員弁東小学校校舎改築工事		教	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×

一般質問

あなたの声を市政に

6月6日、7日に10人の議員が一般質問を行いました。
なお、一般質問の全内容は後日、市のホームページ、「市議会のページ」、「会議録検索システム」から閲覧することができます。

1. 万全な防災対策の確立を求める
2. 学校給食費を公会計化にすべきでは
3. 障害児の進路選択指導や相談窓口の充実を



新政いなべ

岡 英 昭

【質問1】 先日、東日本大震災の被災地である福島市等を自主視察してきたが、今後予想される東海大地震等の災害や浜岡・敦賀原発も含めた市民の生命と財産を守る防災対策とライフラインの確保および他市町に支援を依頼する災害相互援助協定などの姉妹都市の締結を求める。

【総務部長】 東南海地震等を想定しているが未知数の部分があり、国や県と連携して食料、通信網等の防災計画の見直しを行う。

【市長】 東近江市と平時より交流を図っていききたい。

【質問2】 北勢・員弁中学校の給食が2学期から始まるが、この機会に学校給食費の私費会計から徴収事務に法的強制力が伴う公会計化にすべきでは。

【教育次長】 給食費の滞納や徴収トラブルもあり、法的徴収ができる公会計化への移行も考えられるが、各学校において給食の形態が異なっている今はその考えはない。

【質問3】 障害児の進路選択として地元の小・中学校へ進むか、専門的な特別支援学校を選ぶか、特に今年は桑名に創設されつつある障害児学校に行くか迷うところである。適切な指導助言のできる態勢と保護者の悩み相談の窓口を一元化すべきでは。

【教育長】 健康こども部と教育委員会等関係課の連携で障害児の途切れのない情報の共有化を図り、専門的なコーディネーターによる指導助言や悩み相談に適切に応じていきたい。



土石流復旧工事（藤原町大貝戸地区）



新政いなべ

種村正巳

- 1.緑が豊かななちづくりに向けて
- 2.全市的な健康福祉拠点の整備は
- 3.上水道の充実を

【質問1】 総合計画の第2期基本計画の作成にあたり、市民満足度調査を実施したが、自然環境や住環境に恵まれていることが上位を占めている。青川峡キャンプパーク、農業公園、阿下喜温泉、いなべ公園などに高い関心が集まっており、若者の定住などが求められている。都市公園や観光施設の整備計画は。

【都市整備部長】 いなべ公園の隣接地10haを平成24年度に散策路として計画をしており、平成21年度に約61,000人の入園者。ふるさとの森公園は1haに樹木147種類1,257本を植栽。毎月、自然講座の開催や公園ボランティアの育成も図る。

【農林商工部長】 農業公園のコテージは8戸である。青川峡キャンプパークはフルシーズンの利用者増加に努める。市内観光施設入場者は平成21年度で約437,000人。

【質問2】 全市的な福祉体制の整備が求められているが、地域福祉活動の現状と今後は。

【福祉部長】 地域活動の状況は老人クラブ67地区9,242人、元気クラブ36団体19,818人、サロンサポートのリーダー211人、民間デイサービスやコーディネーターで地域力の発展、モデル事業で徘徊、認知症マップ作成、サポート講座62回で2,300人受講。

【質問3】 上水道の現況と今後は。

【水道部長】 上水道の水源地19箇所を受水、平成23年度簡易水道の統廃合、機器や管路の更新を実施。



いなべ公園



政友クラブ

鈴木順子

- 1.「被災者支援システム」を導入すべき
- 2.BLS教育と防災士の育成が必要
- 3.期日前投票を簡素化に

【質問1】 男女共同参画の視点から、避難所の総点検と公立学校施設の防災機能の向上の必要性について。電力事情により、いなべ市内の企業が休日を変更するが、保育園・放課後児童クラブの対応をどうするのか。災害時に役立つ「被災者支援システム」を導入すべきと考えるが。

【総務部長】 地域防災計画の策定メンバーに女性の参画を図り、女性の視点を考慮する。避難所を調査し研究していく。「被災者支援システム」は試験的に活用してみる。

【健康こども部長】 保育園の休日運営については、保護者の相談を受けて対応していく。

【教育次長】 放課後児童クラブは、必要な子どもの増加が予想されるので、保護者と協議し追加支援していく。

【質問2】 小・中学校における救命講習の取り組みとBLS（一次救命措置）教育の必要性について。市民による防災士の育成が必要と考えるが。

【教育長】 BLS教育は技術の習得のみならず、命の大切さを学び、子どもの人格形成に役立つものとする。発達段階に応じた取り組みが実施できるよう検討していく。

【総務部長】 防災組織の中に防災士が必要であり、広報誌で市民に啓発し研修を促していく。

【質問3】 期日前投票の時に記入する宣誓書を投票入場券の裏側に印刷することで、投票しやすくしては。

【総務部長】 印刷のスペースを考えながら検討する。



日曜保育を実施している石榑子育て支援センター（7月1日～9月30日）

1. 太陽光発電を導入したらどうか
2. 東日本大震災を受けて、いなべ市の防災対策を見直したのか



政和会

多湖克典

【質問1】 太陽光発電やエコカー導入補助金など、環境に関する補助金制度を策定する考えはあるのか。員弁東小学校や大安中学校の建設に太陽光発電なども検討してはどうか。

【市民部長】 市単独の補助金は現在考えていない。

【教育次長】 員弁東小学校と大安中学校は設計段階で太陽光発電を計画している。

【再質問】 これから住宅を新築する方にとっては、太陽光発電の補助金がある地域に建設したいと思うのではないか。

【質問2】 東日本大震災の教訓を得て、いなべ市で考えられるリスク対策はどこを見直したのか。想定震度はどう変わったのか。震度7、あるいはマグ

ニチュード9の想定をして対策を見直しているかどうか。電気や水道のライフラインの確保についても停電対策や老朽化している水道管の破裂を防ぐための見直しはしたのかどうか。また、建築前までの員弁東小学校、大安中学校は避難場所として安全性に問題はないのか。

【総務部長】 まだ見直しを行っていない。今後、県や国の指針で変更があればそれに従って検討する。

【教育次長】 員弁東小学校と大安中学校の体育館は耐震化されている。

【再質問】 すぐ来るかも知れない地震に対して、両校の校舎が完成するまでの間も児童、生徒および教職員の安全が確保できるように対策してほしい。



太陽光発電設備のある一般住宅

自治会と良好な関係で公平な市政の運営を



政和会

川瀬利夫

【質問】 問題点を検証し、より制度を高めて公平な市政の推進を図るために問題提起したい。自治会要望書の受付について、①回答に至る事務処理の経緯は。②可否回答の経緯及び方法は。

【企画部長】 ①各総合窓口課で受け付け、広報秘書課に送り、市長の供覧と同時に事業担当課に要望書写しを送る。②可否回答は一般的に行っていない。緊急性のあるものは直ちに対応する。その他は優先度を検討して実施する。

【再質問】 自治会長の力量等によって自治会間に不均衡が生じないか。

【企画部長】 連絡が行き届かないこともあるが、すべての自治会に対応している。

【再質問】 要望書は毎年繰り返されて出されているようであるが、単年度処理をしているのか。

【企画部長】 1回出された要望は保管してあるので毎年出さなくてもいい。

【再質問】 要望には県または国の事業に対するものがあると思うが処理は。民間企業等に対する改善要望には仲介役をしているか。

【市長】 それぞれに要望はあげている。

【再質問】 新しい自治会長は行政の仕組みに不慣れである。それをカバーするために補助金制度等を十分知らせているか。

【企画部長】 毎年1回要望書、補助金制度について知らせている。



自治会要望書を集約する広報秘書課（員弁庁舎）



波動

奥岡 征士

1. 「いなべ市地域福祉計画」の仕上げる年度であり、その成果は
2. 今夏の電力が心配、「いなべ市」の取り組みは

【質問1】 ①地域福祉計画の目的と達成期間は。②社会福祉協議会への出資金と派遣職員の状況は。③社会福祉協議会への会費の納入状況や善意の寄付金が減少傾向だが、市民への啓蒙活動をしっかりせよ。④地域包括支援センターは市直轄事業と社協への委託事業の2方式をとっている。メリット・デメリットは。全て委託しては。⑤福祉計画で自治会の位置づけは。自治会やグループでの健康体操に細かな支援をして自治会の自立化を目指すべきだ。⑥老人世帯が増加しているが国民年金で入所できる手続きは。また入所待ちが230番目だと聞くが事実か。

【福祉部長】 ①5カ年が計画期間で事業が進んでいる。②合併時に旧4町からの出資金400万円と保健福祉士や保育士を十数名派遣している。③会費も寄付金も減少している。④良い面を補完しながら地域福祉の向上を目指している。⑤地域福祉計画では

自治会の役割は大きい。⑥国民年金受給者の平均額は月額5.9万円で特別養護老人ホームであれば入居できるが、介護度1などと審査条件は厳しい。市役所や社会福祉協議会で相談を受けている。

【質問2】 自動車関連企業では土曜日・日曜日が勤務となるが保育所などの手立ては。

【健康こども部長】 現時点の調査では7名程度であり、今後とも親切的な対応に心がける。



老人会総会（石仏地区）



日本共産党いなべ市議団

石原 瞭

災害に強いまちづくり
～日頃から福祉や教育を
強化することが大切～

【質問】 ①個人住宅の耐震化制度があっても実効が上がっていない。市の促進策は。②防災無線の斉放送が聞き取れないが、対応は。③土石流・山崩れ等危険地域の住民をどうするか。移住地は一般の人に売り急ぐべきではないが。

【建設部長】 ①昭和56年5月末以前にできた木造住宅は「木造耐震住宅事業」の対象（約5,000戸）。平成22年度までに217戸が耐震診断を受け、倒壊しない判定は1戸。制度利用で耐震改修を実施したのは10戸。結果から多くが耐震改修を必要と推察される。住宅の耐震化を進めていくには、市民の地震に対する備えの意識高揚が必要。より積極的に広報をしていく。

【総務部長】 ②旧町それぞれでシステムが違う。休日閉庁のため、合併前のような利用は困難。員弁

庁舎から一斉送信はできない。災害時には各庁舎に職員が出向いて放送することになっている。外部のスピーカーへ苦情もあり、いなべ市に合ったシステムの検討をしていきたい。

【建設部長】 ③土砂災害は、県の事業で10渓流あり現在工事中。大貝戸・坂本の6渓流は、県による砂防堰堤を設置する等の対策が実施されてきた。しかし、ハード対策があるから大丈夫ということではなく、雨の状況や現地の水・土砂の流れ方を監視し、いざというときは逃げるということについて再確認が必要。



員弁町地内に設置されている防災無線

1. 災害に強いまちづくり（給食センター、調理室の活用を）
2. 健康増進施設 阿下喜温泉は観光施設なのか
3. 医療費を負担できない人の救済を
4. 子どもの学習環境を整えて



日本共産党いなべ市議団
衣笠民子

【質問1】 ①避難所の炊き出しに学校給食センター、学校調理室の活用は。②学校給食現場の職員配置で正規職員が非正規職員に置き換わってきている理由は。

【教育次長】 ①災害対策本部の要請によって調理室、給食室を提供し、献立調理を支援する。

【市長】 ②国の要請で地方公務員を削減してきた。

【質問2】 ①足湯閉鎖の経過、理由は。②約6億8千万円税金を投入して建設した阿下喜温泉は、福祉施設として市民の健康増進に役立っているか。

【市長】 ①利用者の増加で湯量が足らなくなり、温泉の利用者を優先するため支配人と相談し決定した。②利用者の8割は市外の人利用だが、いなべ市民は太っ腹なので、市内、市外の人問わず、健康増進に役立っている。

【質問3】 国民健康保険の患者負担分、減額免除の規定は。

【市民部長】 厚生労働省の示す基準どおり「いなべ市国民健康保険一部負担金の免除及び徴収猶予に関する要領」を定め、平成23年4月1日から運用している。

【質問4】 ①今年、小学校1年生に限り、1クラス当たり上限人数が35人に引き下げられた。他学年にも広がっていくことが望ましいが、考えは。②教室の室温等環境調査の計画は。

【教育長】 ①そのように考える。国に要望していきたい。②6月、7月、9月に5日間ずつ3回、各階1教室、午後2時頃実施の予定。



閉鎖された阿下喜温泉の足湯

1. 副市長の東京出張旅費請求は公私混同ではないのか
2. 副市長の3月議会の答弁は嘘ではないのか
3. 多志田川の表流水回復工事を早急に着手するべきだ
4. 獣害駆除の捕獲手当ての増額を



無会派
清水 実

【質問1】 東京出張旅費で住民監査請求が出されて、中日新聞で報道されたことについての感想は。公私混同しているのではないのか。

【副市長】 住民監査請求により、旅費の返還を勧告されたことについては、お詫び申し上げたい。一泊二日の連続とした理由は、東京の実家から直接桑名に行く方が効率的かつ効果的と判断したからである。

【質問2】 副市長は3月議会において、公社は企業会計で16億円の赤字なのに、黒字と嘘をついて市長を弁護した。平成16年度最高裁判所の判決から見ても市長が公社の理事長兼務は、民法108条の双方代理違反だ。

【副市長】 財政健全化法に基づいて答弁をしたもので、個人的に解釈したのではない。理事の兼務については、地方自治法を踏まえて「首長が適切に判断することを妨げるものではない」と説明した。

【質問3】 過日、火災が発生し、防火用水、農業用水とも水不足が指摘された。多志田川の表流水回復工事を早急に着手するべきだ。

【建設部長】 県の桑名建設部と相談して進めたい。

【質問4】 猪、鹿、狸、アライグマ、アナグマ、ハクビシン等にも相当の捕獲手当てを支払うべきではないのか。

【農林商工部長】 猟友会に駆除と猿の追い払いで1,200万円委託をしている。市の財政も厳しいので予算の範囲内で有効な対応をしていく。



水が枯れている多志田川



無会派

小川 克己

1. 防災の対応策は
2. 自治会要望が担当課に届いていないのではないか
3. 福祉センター用地への企業誘致の進捗状況は

【質問1】 いなべ市は幸い津波の心配はないが、河川の氾濫による家屋への浸水、また、崖崩れ等の危険箇所の把握と対応策はどうか。

【総務部長】 市内の山崩れ、崖崩れの危険箇所は70箇所、急傾斜地危険箇所181箇所、地滑りの危険箇所3箇所であるが、藤原の土石流以外は安定をしている。家屋への浸水危険箇所は員弁川周辺、三狐子川、養父川等があり、連絡を密にして十分注意をはらっていく。

【質問2】 自治会要望は住民にとって一番身近な関心ごとであるが、確認をしても要領を得ないし、担当部課に届いていないことがある。受付け後の連絡経路および最終確認部課は。

【企画部長】 各庁舎の総合窓口課で受付けをし、広報秘書課でPDF化をして保存。PDF化で台帳形式により何時でも過去にさかのぼって調べることができる。個別の件については把握していないが、今後パイプの詰まらないように注意をする。

【質問3】 高柳地区に誘致中の「(株) サラダコスモ」の進捗状況は。

【都市整備部長】 進出の最大の条件は「もやし」等の野菜栽培のため、良質で安定した水の確保が重要である。現時点では敷地内に深井戸1本、浅井戸2本を掘削したが、1日に必要である水量3,000 tに達していないため、新たに敷地外で水源を求めているが進出の鍵はこの結果にかかっている。



豪雨による家屋への浸水

議会改革委員会が検討を再開

～ さらなる改革に向けて 第2次議会改革委員会 ～

平成22年7月に発足した第1次議会改革委員会では、先進地視察などの調査・研究をもとに、さまざまな改革につき検討を重ねました。

その結果、いなべ市議会では、一般質問の一問一答方式の導入、3つの常任委員会の日を分けての開催など議会運営に関わることから、市の審議会委員への就任制限など、議員の議会外における活動にいたるまで、数多くの改革に着手しました。

しかし、まだ残された課題や新たな改革についての検討を行う必要があります。

そのため、下記のメンバーによる第2次の議会改革委員会で、引きつづき調査研究をつづけます。

議会改革委員会委員

委員長	林 正 男
副委員長	川 瀬 利 夫
委 員	太 田 政 俊
〃	水 谷 治 喜
〃	岡 英 昭
〃	小 林 俊 彦

※ 議会改革委員会委員は、議会運営委員会委員が任に当たっています。

議会運営委員会 視察研修 (5月19日～20日)

議会運営と議会改革を学ぶ (静岡県藤枝市、三島市)

議会運営委員と議長、副議長は、いなべ市議会のさらなる議会運営の充実と議会改革の推進を図ることを目的に、藤枝市と三島市を訪問。両市議会の取り組みなどについて学びました。

両市議会は、歴史が深い中においても、いなべ市議会のように議会改革検討委員会を立ち上げるなど、改革に関しては前向きに進めています。

その中でも、藤枝市議会では、タウンミーティングの開催や予算編成に向けての市長への提言書の提出を行っています。

また、三島市議会においては、議事進行における効率化など、議会の充実が強く図られています。

今後、いなべ市議会としては、議会としての本来の役割を果たすことに主眼を置き、市民の負託に応えることができるよう取り組んでいきます。藤枝市、三島市での視察研修で学んだことも参考とし、大いに機能を発揮していきたいと考えています。



藤枝市議会



三島市議会

総務常任委員会 視察研修 (7月5日～6日)

災害時の対応を学ぶ (京都府長岡京市、兵庫県淡路市)

災害時の避難場所ですぐに困るのが排泄物の処理であり、既存のトイレでは数が少なく、衛生面などにも問題があります。

そこで、長岡京市が整備を進めている「災害用マンホールトイレ設置工事」を視察しました。

マンホールトイレを使った防災訓練では、見学者の9割は女性であり、災害時のトイレ事情には不安が大きいことから、トイレ設置工事に安心の声が多かったそうです。

また、体の大小があるために便座のサイズが統一できない。和式トイレも必要などの問題点もありました。

淡路市では、阪神淡路大震災時の復旧活動や震災後の防災対策などについて研修を行いました。

震災当時の北淡町(人口約11,000人、世帯数約3,700世帯)は、震源に近い家屋の倒壊が多くありましたが、行政、消防団員および地元住民の連携により地震発生から12時間後には生存者と死者の全市民の把握に成功しています。

また、平成17年に旧5町で(淡路市の人口約48,000人)合併をしましたが、大震災を教訓にソーラー発電や防災あんしんセンターを整備し、センター内の給食施設では避難者4,700人分を賄える設備があります。



マンホールトイレ



給食施設 (淡路市防災あんしんセンター)

クイズ

問1 老朽化した保育園と小学校が建て替えられます。それは（仮称）笠間保育園と員弁〇小学校です。

員弁〇小学校

問2 いなべ市議会では議会改革を進めています。改革に向けて調査・検討している機関は、第〇次議会改革委員会です。

第〇次議会改革委員会

問3 総務常任委員会の委員が視察研修で学んだ災害時用のトイレの名称は何でしょうか。

- ①ポータブルトイレ
- ②簡易トイレ
- ③マンホールトイレ

応募方法

官製はがきに「答」・「住所」・「氏名」・「年齢」を記入してお送りください。

正解者の中から抽選で15名の方に「図書カード」をプレゼントします。

☆あて先 〒511-0292

いなべ市大安町大井田2705番地
大安庁舎内 いなべ市議会 議会事務局

☆締切日 平成23年8月26日(金)《当日消印有効》

※応募いただく「はがき」にスペース(空白)ができましたら、「議会だより」や「議会」に対するご意見や感想もぜひお書きいただき送付ください。

なお、「はがき」にご記入いただいた個人情報につきましては、目的以外に一切使用いたしません。

全国市議会議長会定期総会および 東海市議会議長会で議員が表彰されました

15年以上表彰を受けられた方は、石原 瞭 議員、清水 実 議員、太田政俊 議員

10年以上表彰を受けられた方は、小川克己 議員、林 正男 議員、伊藤弘美 議員



後列左から、林 正男 議員、伊藤弘美 議員
前列左から、石原 瞭 議員、太田政俊 議員、小川克己 議員



清水 実 議員

編集後記

今号の裏表紙写真は、長年の功労に対して表彰を受けた議員の皆さんです。おめでとうございます。
今年の夏は、節電の夏になりそうです。6月議会も議場のクーラーは切られたままでした。クールビズになっていない「いなべ市議会」で、締め切ったまま窓もない空間はとても暑いものでした。

原発はもはや安全ではなくなり、新エネルギーもすぐには立ち上がらないので、皆さんの節電で乗り切るしかありません。市としても積極的に新エネルギーの推進をしてほしいと感じています。

昨年は、いなべ総合学園の甲子園出場で熱くなりました。今年もこの「議会だより」が出るころには決まっていると思いますが、熱い甲子園を期待して、熱い夏を乗り切りましょう。

9月定例議会(予定)

- ◆開会日……………9月 1日(木)
- 一般質問……………9月 6日(火)
- ……………9月 7日(水)
- 総括質疑……………9月12日(月)
- 総務常任委員会……………9月13日(火)
- 教育民生常任委員会…9月14日(水)
- 産業建設常任委員会…9月15日(木)
- ◆閉会日……………9月22日(木)

皆さんからのご意見、
ご感想をお待ちしております。

連絡先

〒511-0292
三重県いなべ市大安町大井田2705番地
いなべ市議会 議会事務局
TEL(0594)78-3515/FAX(0594)78-3516
<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>